

NEWS LETTER



△7月6日(土) ユースボランティア茅ヶ崎2024 オリエンテーションの様子△

CONTENTS

- ・【特集】市民活動アンケート結果
- ・ユースボランティア茅ヶ崎2024 オリエンテーション報告
- ・「さぼちゃんが行く！」
特定非営利活動法人
ワーコレたんぼぼひろば
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



写真では見づらいのですが、水草に隠れて「メダカ」と「エビ」が元気よくゆらゆらと気持ちよさそうに泳いでいます♪会計スタッフ S さん宅に生息していた数匹がサポセンにお引越し。小さな鉢で成長する姿を眺めながら、癒しのひとときを過ごしています。
サポセンのニューアイドル誕生?? (さぼちゃん危うし...!)

今後の予定

Aug
8月

- ▷8/20(火) 14:00~16:00
シェア de ボランティア
- ▷8/29(木) 14:00~16:30 1回目
IT スキルアップミニ講座「Canva」

Sep
9月

- ▷9/5(木) 14:00~16:30 2回目
IT スキルアップミニ講座「Canva」

Oct
10月

- ▷10/19(土) 10:00~11:30
「こどたん^{プラス}+2025」キックオフ交流会
- ▷10/27(日) 14:00~16:00
SDGs カフェ ゲスト：鳥羽瀬孝臣さん
(東京理科大学創造理工学部技術士)

Nov
11月

- ▷11/9(土) 14:00~16:00
NPO 講座 講師：田所喬さん
(特定非営利活動法人 NPO フュージョン長池 理事長)

プラス
こどたん + 2025

お楽しみに〜♪



開催日 >> 2025年 3月9日(日)

さまざまな体験を通じ市民活動を知るおまつり!!

場所は、「ちがさきサポセン」でやるよ!

詳細は決まり HP、チラシ等でお知らせします♪

【特集】「2024年度 市民活動に関する状況調査(アンケート)」 集計結果

データベース登録団体を対象に、登録更新手続きと併せて現在の活動状況や必要とする支援についてアンケート調査を行いました。今後の施設運営や市民活動の支援・推進事業に役立ててまいります。

みなさま、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

調査期間：5/26～6/30 対象：317団体、回答数：235団体（法人等54、任意団体181） 回答率：74%

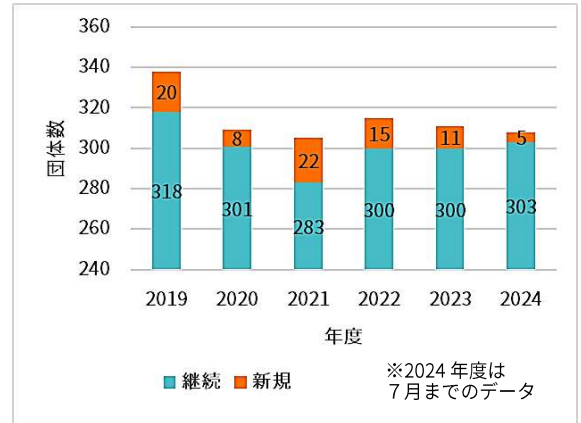
データベース登録団体の概要

7/20 現在、データベース登録団体のうち WEB 版にて情報公開しているのは **308 団体**。

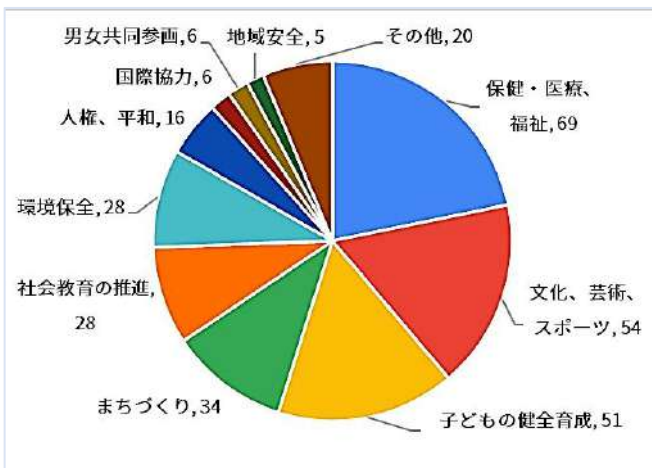
コロナ禍の影響で活動機会が失われた、高齢化による会員数の減少、後継者がいないなど、様々な理由で残念ながら活動継続が難しくなり登録を取消された団体もありますが、現役世代の団体を中心に新規登録もあり、全体としては 310 前後で推移しています。

ただ、近年は少人数で活動する団体が増加傾向で、正会員数（ボランティア等除く）9名以下の団体数割合は、活動歴5年未満では70%、5～9年では全体の55%となっています。

▼ガイドブック WEB 版掲載団体数の推移

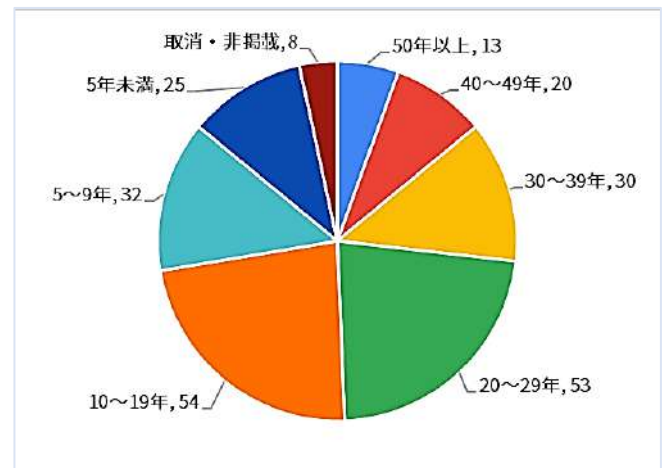


Q1 アンケートの回答団体について



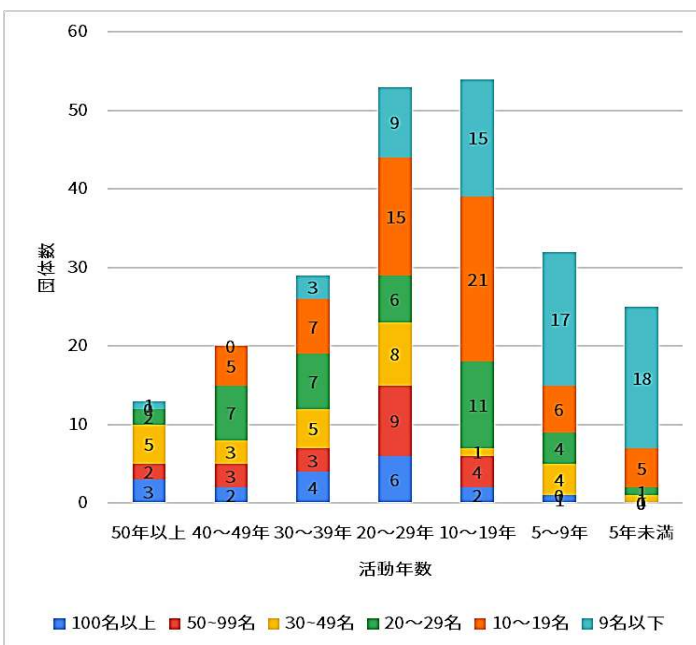
▲ 活動分野（サブの分野も含む）ごとの団体数

▼ 活動年数ごとの団体数



活動年数は、30年以上28%、20～29年23%、10～19年23%、10年未満25%となっています。

会員数は9名以下が一番多く27%、次いで10～19名25%、20～29名16%、30～49名11%、50～99名9%、100名以上8%でした。



▲ 団体の内訳：活動年数ごと、活動人数別団体数

Q2 回答者について

代表または会長68%、事務局17%、連絡担当6%、副代表または副会長3%、会員2%、その他3%でした。

【その他】施設長、常務局長、広報部、前年度会長など

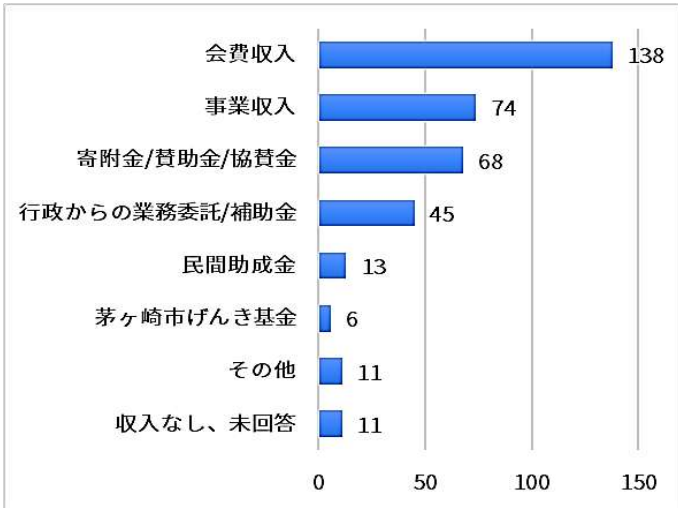
Q3 活動の頻度

月1回/週1回など定期的に活動42%、必要に応じて不定期27%、週5日以上17%、その他11%、活動休止中3%でした。

【その他】週2回、月2回、365日毎日（福祉事業者、動物保護団体）、季節ごと・活動内容によって異なる、行事・イベント・活動依頼にあわせて、など

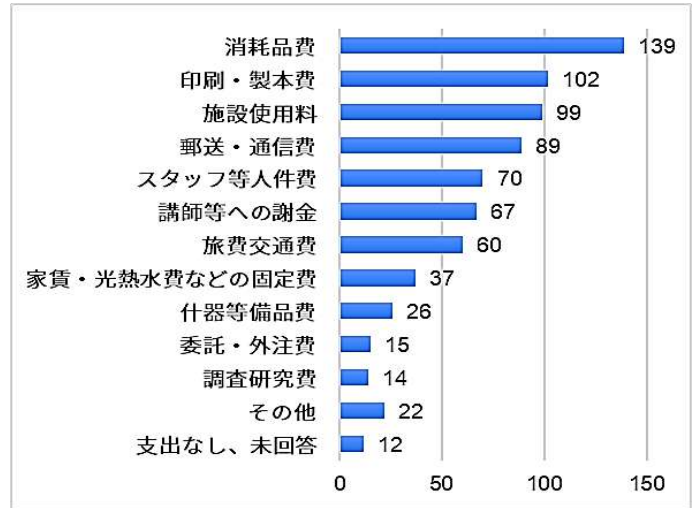


Q4 主な収入源 (複数選択)



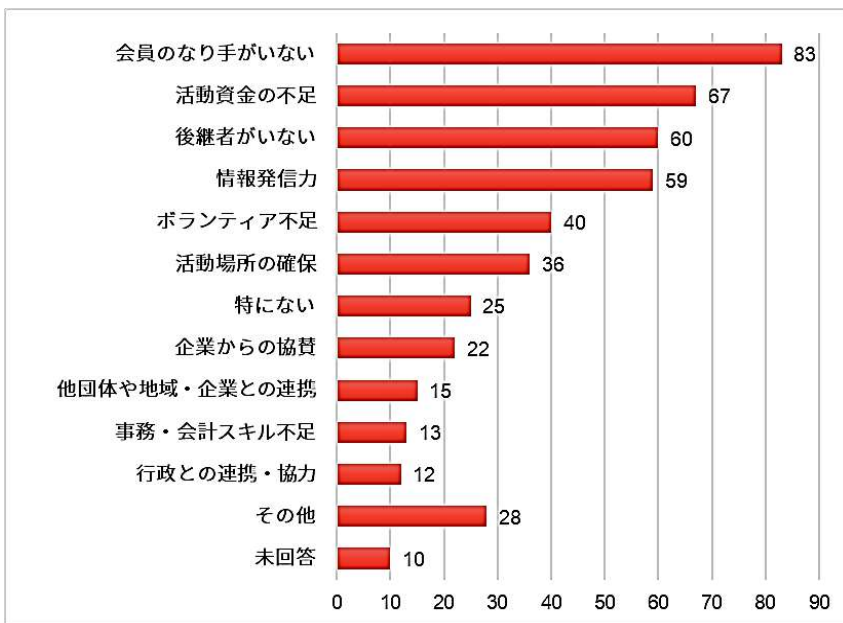
【その他】自治会から、団体本部から、市社協の補助金、定例会参加の都度、経費を会員均等割り、会員の個人負担、代表持ち出し

Q5 主な支出費目 (複数選択)



【その他】保険料、寄付金、慶弔費、イベント参加費、自己研鑽のための費用、WEB・施設維持費、広告費 (タウンニュース掲載)

Q6 現時点で団体が抱える運営上の困りごと (複数選択)



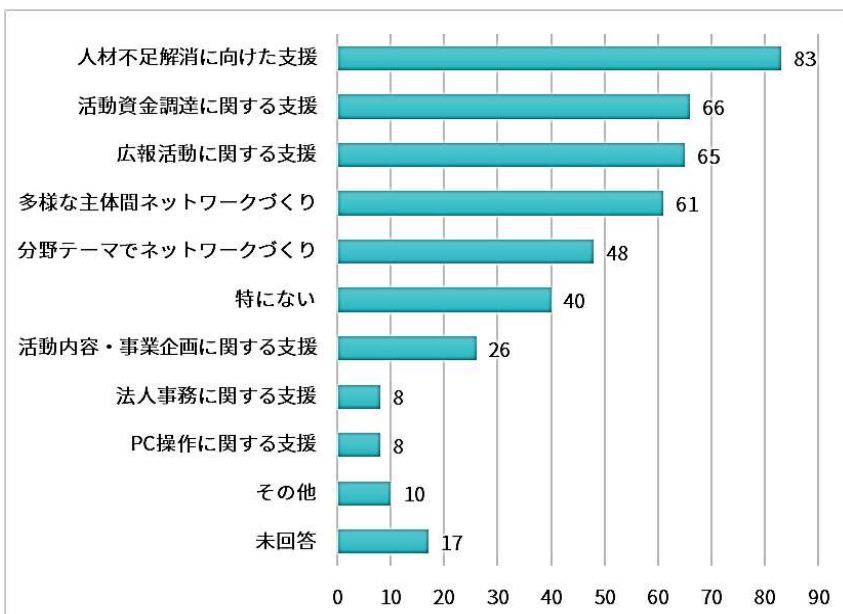
会員のなり手、後継者、ボランティア、高齢化 (その他の回答で多数あり) など、「人材」について悩みがあると回答したのは 143 団体、全体の 60% でした。困りごとの上位項目は昨年とほぼ同じですが、「情報発信力」を選択した団体が全体の 16% から 25% に増えています。

【人材】高齢化 (多数あり)、実働人数不足、役員の高齢化、若手の入会が少ない、70 代で入っても他の仕事をしていたり他の会の仕事がありなかなか会の世話人になってくれない、録音技術者の育成に課題、経営・労務関係の知識不足、同じような活動をしていく人がいないので自分たちで終了と考えている

【場所】交通手段の確保が難しい、公演等で使用する道具の保管場所、楽器をさせる公共の練習場が少ない、展示などで利用する会場費の負担が大きい

【その他】コロナ禍以降協賛金・寄付金が大幅ダウン、寄付される物資の量 (特に食料品) が年々減っている一方で物資を希望する団体の数が増えている、本来行政がすべきことをしているので積極的な支援や施策立案が必要

Q7 これから必要と思われる支援 (複数選択)

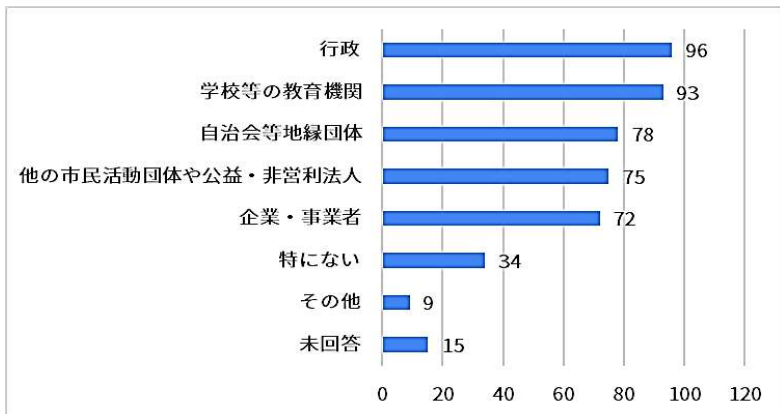


運営上の困りごと項目と比例する形で、「人材不足解消に向けた支援」が必要であるとの回答が一番多く、全体の 35% ありました。

昨年度 86 団体 (全体の 39%) が選択した「活動分野・テーマでの市民活動団体・関連機関とのネットワークづくり」は今回 26% と少しトーンダウンしてしまいましたが、「多様な主体 (行政・企業・学校・地域等) とのネットワークづくり」とあわせると 82 団体 (全体の 35%) が選択しており、サポセンでは今後も市民活動のつながりづくりに取り組んでいきます。

【その他コメント】団体とのマッチング交流会を年 2 回は実施してほしい、市民活動センターの主目的はボランティア風土を作り育ててゆくこと、IT 関連支援、ビジネス設計・居場所設置の事業計画支援、活動場所を増やしてほしい (150 名程度まで収容できる音楽活動用練習会場の確保)、行政に茅ヶ崎の芸術・文化をあたためて欲しい、JICA を通じた物品支援品の保管管理場所、手話通訳者を目指す人口増加 (謝礼金 UP や身分保障の充実が必要)

Q8 活動の更なる発展、多様な地域課題・社会課題の解決に向けて、連携・協働したいと思う相手先



(複数選択)

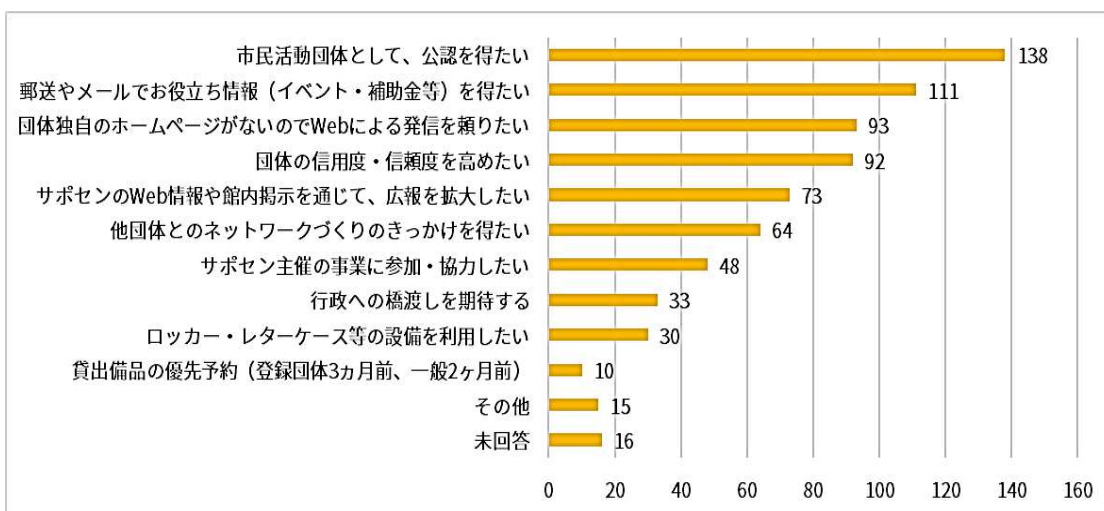
昨年度と比較してアンケートの回答総数が多かったことあるのですが、どの「相手先」も、選択した団体数の割合が増加しています。昨年3番目だった「行政」は今回一番多く(23%→41%)、次いで「学校等の教育機関」(24%→40%)、5番目だった「自治会等地縁団体」は3番目に多くの団体が(21%→33%)連携・協働したいと回答しました。

【その他】図書館、地域課題に向けて先駆的な団体(方法を情報共有したい)、茅ヶ崎以外の活動団体、サポセン(ユースボランティアの継続希望)

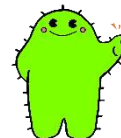
Q9 市民活動団体データベース登録の理由

(複数選択)

サポセンは団体登録の有無に関わらず、市民活動をする方がどなたでもご利用になれる施設ですが、登録データをもとに、「市民活動団体ガイドブック(現在はWEB版のみ)」として情報発信しています。市民の方が茅ヶ崎で行われている様々な活動(理念や内容)を知り、参加したり応援したりできるように、活動状況や連絡先を毎年確認させていただいています。



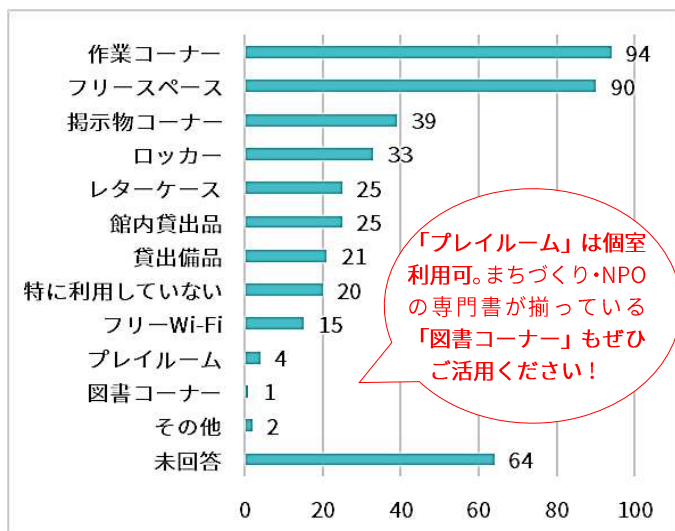
団体基本情報に加え、団体主催のイベント情報やボランティア募集などについても積極的に情報発信していきたいと思います。広報紙等、いろいろな情報をお寄せください。茅ヶ崎の市民活動全体をもっと盛り上げていきましょう!



【その他、ご意見】団体を設立したら登録するものだと思っていた、公共施設の利用料減免、サポセンフリースペースを利用するため、サポセンと繋がりを持ってほしい、地域の学校教育に協力したいと考えておりサポセンのデータを見ての問合せがあるので登録している、市民に知ってもらえればよく「(選択肢にある)団体として公認を得たい」では誰に公認を得たいのかわからない

Q10 施設・設備で特に利活用しているもの

(複数選択)

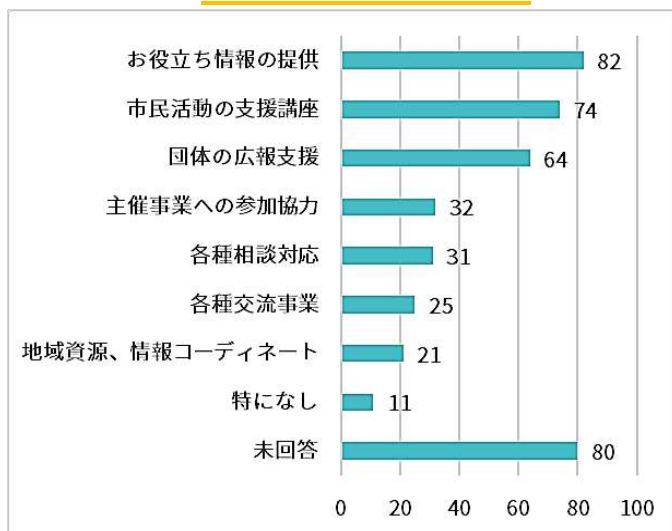


「プレイルーム」は個室利用可。まちづくり・NPOの専門書が揃っている「図書コーナー」もぜひご活用ください!

【その他】機器の利用でお世話になっている、他の公共施設・市社協のボランティアルームを利用、場所が不便で利用したことがない

Q11 サポセン機能・事業の中で

活用・参加しているもの(複数選択)



★主催事業→ユースボランティア、ボランティア塾、こどたん+など

★交流事業→SDGsカフェ、居場所づくり交流会など

【その他】寄贈品が役立った、市役所のパネル展はまた参加したい



Q12～Q14 は自由記述。約半数の団体からたくさんのご意見、ご提案をいただきました。ありがとうございます！一部をご紹介します。



Q12 サポセンが「〇〇なシーンで役に立った」、「〇〇なふうを活用できている」というような具体例

●予約なしでフリースペースが使える、印刷作業等に便利

- ・身体障害の方にとって車を入口まで横付けでき、そばに駐車場がありフラットな場所で移動できるのは何より助かる。サポセンの有難さは高齢になるほど身に沁みます。
- ・印刷機やコピー機等の使用方法について、いつも懇切丁寧な説明や適切なアドバイスをいただき大変ありがたい。
- ・ロッカーに古い資料や会の案内などを納めておくことができるのはありがたい。

●げんきがもらえる場

- ・夜間のフリースペース、wi-fiが大変役立っています！！スタッフの方（談笑が楽しいです！）や他の団体さんがいて、夜にこんなががんばっている団体さんがいるんだ！とパワーを頂いています！作業に集中でき、「誰かがいる」からがんばろう！と思える数少ないスペース。
- ・久しぶりに行くと色々な方から話しかけられる。皆も相変わらず頑張っているんだなあ嬉しくなり、お互いの色々な情報交換もでき、市民活動団体の中心的存在になっていると感じる。
- ・仕事のすき間に利用できる。行ったとき他団体の人と会える。活動する余裕がなくても情報だけは送ってもらえる。

●サポセンによる広報に効果あり

- ・NEWS LETTERの「さぼちゃんが行く」に取り上げて頂き、民間助成団体から作業助成金がもらえた（福祉作業所）
- ・「市民の活動だより」の掲載記事を利用者の人がコピーし回してくれて次の利用者につながっている（子育て支援）
- ・掲示物コーナーに置いてもらったチラシで、行事に市民が参加してくれた。

●補助金・民間助成金等の申請サポート

- ・げんき基金にチャレンジする際の明確なアドバイスや資料作成、団体の運営アドバイスが役立った。
- ・げんき基金スタート支援で1年間市民自治推進課にお世話になり、その後もチラシ配布で助かった。サポセンと行政とのつながりがあるからこそ、活動継続できている。
- ・団体の信用度がまだ低く、助成金申請の際に実績だけでは通らない場面がいくつかある中で、センター長による推薦状はとても助かりました。
- ・学習支援を他の学校に広げるきっかけは、サポセン(益永さん)から協働推進事業を紹介していただいたこと。昨年も、当団体の活動を紹介いただいた県職員の方から、県の補助金申請の提案があり補助金を得ることができた。

●サポセン事業への参加・協力

- ・団体単独ではできない活動の場（こどたん+）を与えていただき、新たなつながりや新規入会につながっている。
- ・「こどたん+」に参加。点字や視覚障害者への理解が毎年少しずつでも深まっていくのではと期待しています。
- ・ユースボランティアの受入れを毎回実施。中高生を受け入れることで海の安全普及や活動の活性化にもつながっている。（ユース体験者が会員になってくれた）
- ・「ミライトーク」に参加がきっかけで他のIT支援団体とも連携。茅ヶ崎市にデジタル推進活動について提案予定。

●その他、役立っている！の声多数あり

- ・印刷作業コーナーの機器類、イベント用貸出備品、無料の駐車場、色用紙の頒布、HPガイドブック、交流イベント、団体の運営相談（会計・経理処理のアドバイス）など

Q13 団体支援につながる機能として、サポセンにもあったらいいなと、思うこと

●広報をさらに充実

- ・ボランティア募集情報紙の発行
- ・メンバー募集などを、他のグループなどと一緒に、広く一般の人の目につくところでやってほしい。
- ・団体活動をサポセンのSNSなどで紹介してもらうためにどうしたらよいか良からず活用しきれていない感じ。
- ・HPに多くの団体の活動状況が一覧で確認できるようなページがあると、近い活動をしている団体に声を掛け連携しやすくなるのでは。
- ・団体の活動状況がわかるようなページ(HP)にしてほしい
→[団体 SNS](#) や[館内掲示の団体メモリーファイル](#)もご参考に！

●団体同士のつながり支援、行政や企業への橋渡し

- ・ロータリークラブのような事業者の方々の団体と、ボランティア活動を主にしている団体とのつながりを作る機会をサポセンで設けてもらえるとうありがたい。
- ・企業代表者や役員との定期的な交流・意見交換会など
- ・行政だけでなく地元企業との懸け橋になってもらえたら
- ・事業型のNPO団体等、同じカテゴリの団体と交流・連携の機会があると良い。
- ・自治会や地域に活動を知らせる機会があれば（学習支援）
- ・分野別に市民団体を集め、その分野の活動と市政の課題など話し合っ情報交換し、市政につなげていく努力をすべき。

●団体の運営支援

- ・インキュベータープログラム・ソーシャルビジネスを展開するための伴走支援、休眠預金などとのマッチング
- ・企業協賛金申請のアドバイス/サポート
- ・学生ボランティアとの繋がりが気軽にできる仕組み
- ・団体の事務的な部分をサポートしていただける、その事務の方とマッチングシステムなどあったら助かります！

●その他

- ・個室（会議室）、パーティーなどの仕切り
- ・聴覚に障害があるなど意思疎通が困難な方のためのコミュニケーション支援機器「レルクリア」、または筆談に使える電子メモパッド・集音器（難聴者の方向け）
- ・飲料の自動販売機→[マイボトル持参でお願いしますね！](#)
- ・登録したばかりで具体的な利用も分かっていないのですが、だからこそ個別面談もあると良いかな・・・

Q14 その他のご意見

- ・施設内がいつも綺麗で整っているので使用しやすい。
- ・身近なものが身近な人を支える社会づくりのため、環境づくりに努力してほしい。
- ・いつも話を聞いていただき、活動拠点としても、活動を続けるための心の拠り所としても助けていただいています

もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2024年7月 開催報告



開催経過報告

「ユースボランティア茅ヶ崎2024」

- ◆オリエンテーション開催日：2024年7月6日(土)～7月8日(月)
- ◆参加者：115名
- ◆ボランティア体験期間：7月20日(土)～9月7日(土)

STEP
1



違う自分に出会える夏が始まる

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会との共催で、中学生から大学生(25歳位まで)を対象に夏休みのボランティア体験をコーディネートしています。

～3つのステップからなるユースボランティア～

STEP 1 オリエンテーション⇒STEP 2 体験期間
⇒STEP 3 ふりかえり(シェア de ボランティア)

ボランティア体験の分野は福祉、保育、子ども、環境保全、地域安全、国際、社会教育など多岐にわたり、23の団体・施設(体験先は約50カ所)が今年の体験先となっています。

6月17日の受付開始から申込者数が伸び、今年も申込締切日前に定員に達しました。「ボランティアをやってみたい!」「地域のことを知りたい!」「いろんな人と交流してみたい!」など動機は様々。ボランティアへ関心が高い若者が多いことは、将来が楽しみです。

オリエンテーションでは、体験日を不安なく迎えるための心構えや注意事項を説明。昨年、参加した学生からの体験談、体験先の紹介に続き、最後は希望する体験先の担当者と面談し体験日の調整や場所などの確認を行いました。申込み時点から体験先を決めている人もいれば、説明を聞いた後で決める人といういる。体験は2日以上を推奨のため、部活や塾等忙しい日々の中、体験日を調整するのも大変そうでしたが全員、体験先は決定!

STEP
2

さあ、“STEP2”の体験が始まります!
自分の興味関心があるボランティア体験により、視野が広がり新しい自分を発見できたり、新たな出会いがあったり、そして様々な気づきを得られるはず。その経験は自分の財産になります。

主催者・体験先のみなさんも、若いみんなの大切な「一歩」をサポートします!9月7日の最終日まで元気に頑張ってください。

THANKS

高校生「運営ボランティア」に助けられて...

定期的にサポセンで部の活動をしている、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部5名。その他、鶴嶺高校 JRC 部7名、アレセイア湘南中学高等学校ドルカス部6名、合計18名の高校生のみなさんに駐輪場や会場への案内、会場設営、受付のボランティアをお願いしました。活動する前は緊張していた様子ですが、活動後は「また参加したい」と嬉しい感想もありました。テキパキと動いてくれた高校生ボランティアのみなさん、ありがとうございました。感想を一部紹介します。



《受付》

参加する人たちが活気に満ちあふれていた。ボランティアに参加しよう!という人が多いことに驚いた。



《会場案内》

思いやりを心がけて、エレベータや階段へスムーズに案内することができた。

《会場設営》

初めてのボランティアでドキドキしたが、指示のもと椅子並べは縦横きれいに並べることができた!



《駐輪場案内》

思うように声かけができなかった。外での案内が暑く、途中から屋内から様子をみながら案内した。



オリエンテーションで部の紹介に加え、参加者へエールの言葉もかけてくれました。

STEP
3

お知らせ～「シェア de ボランティア」

ユースボランティア参加者による体験の“ふりかえり”を共有する場。

8月20日(火)14時～16時、ちがさきサポセンにて開催。体験する前や後での自分自身の変化や感想を楽しく語り合いましょう!みんな参加してね♡



特定非営利活動法人 ワーコレたんぼぼひろば

「たんぼぼひろば」の主な活動拠点は、茅ヶ崎市香川の閑静な住宅街にある古民家「たんぼぼはうす」。地域の方がほっとできる居場所であり、保護者同志の交流の場としても利用されています。

《竹内あき子さん（地域のホットスペース たんぼぼはうす施設長）にお話をうかがいました》

「たんぼぼひろば」は、2003年に子育て事業からスタート。その後、2014年に「デイサービスあのん」の一角を借りてフリースペース「たんぼぼひろば」を開始。2016年には、香川駅に南に位置する古民家場所を移し、「地域の居場所ホットスペースたんぼぼはうす」を開設しました。移転後は、フリースペースの提供に加え、かねてより保護者からの要望が多かった子どもの一時預かりを開始。さらには、たんぼぼカフェ（不登校児童の保護者ためのお茶会）も始めました。その後は、利用者の声に耳を傾けながら、新しい試みを次々と生み出しています。

保育士や子育て支援員の資格を持ったスタッフが、自分の子育て中に“あったらよかったな”“こんな手助けをしてもらったら有難かったな”という思いを胸に皆さんをサポート。ボランティアさんは、子どもが小さい時にお世話になったので何かお手伝いできれば、と参加。集う人たちがここに来たら明るくなれる、気持ちが軽くなる場でありたいと運営しています。

「たんぼぼはうす」の主な活動

- フリースペース（週2回フリースペースとして開放。子どもたちは絵本やおもちゃで自由に遊び、ママたちはおしゃべりしたり、情報誌を眺めてくつろいだり、親子で安心して過ごせる場となっています。月に10組程の親子が利用）
- たんぼぼカフェ（月1回、不登校のお子さんを持つお母さんたちのお茶会です。）
- わくわくたんぼぼ（週2回、小学生のための放課後フリースペースを行っています。工作をしたり、お菓子を作ったりしながら、自由に時間を過ごします。）
- ママカフェ（月1回、ママがお菓子を楽しみながら交流する場です。）
- 一時預かり保育「たんぼぼルーム」（週5日、未就学児の一時預かり保育を行っています。昨年度は年間のべ800人が利用）
- 小学生のおうち（学校の長期休暇（春・夏・秋・冬）に宿題や昼食づくりをしながら過ごす場です。）
- 先生に聞いてみよう企画（2年前から、「たんぼぼカフェ」の枠を使い、学校生活のちょっとした疑問を現役の先生を交えて一緒におしゃべりしています。不登校児童の保護者以外も参加できます）

●アソビゴコロ製作所とのコラボ企画（大きな紙に宇宙を描く「げいじゅつの部屋」や、色々な遊びの<〇〇王>を決める「あそびの部屋」など、子どもの想像力を掻き立てる面白いプログラムが体験できます）

場の運営に際して大切にしていること

大人も子どもも、疲れた時、困った時に助けてほしいと声をあげることができる環境づくりを考え、お互いを思いやれる社会を地域の人と一緒に作りあげていくことを大切にします。また、一時預かりの子どもが成長して小学生になったら、「わくわくたんぼぼ」の参加者となり、さらに子どもが成長したら、今度は、小さな子どもの面倒を見る“お姉さんスタッフ”としてサポート側に回るというように、プログラムを単体で考えるのではなく、プログラム同士がシームレスにつながりながら、長い時間軸の中で子どもの成長を見守ることを大切にしています。

親子が集うフリースペースの様子 ▶



不登校児童の支援団体のネットワークづくり

「たんぼぼはうす」の利用者の繋がりから、「不登校・子どもの居場所ネットワーク茅ヶ崎」が生まれました。不登校の親子のための居場所パンフレットを作成し、学校をはじめとする関係機関・団体に配布しています。また、スクールソーシャルワーカーとの情報交換会や、市社協と連携したイベントの企画なども取り組んでいます。

今後は、「たんぼぼはうす」での居場所事業を卒業した中高生が、気軽に集まれる居場所を作れたらいいな。そして、利用者のお母さん達の得意を活かした企画や様々なニーズに応えながら、多世代の方がほっとする地域の居場所を作っていきたいです。と、誰でも包み込んでくれるような優しい物腰で語ってくれました。



△家田さんと竹内さん

この夏休み、ユースボランティアの学生たちが「フリースペース」「小学生のおうち」でお手伝いをさせていただきます。アットホームな居場所「たんぼぼはうす」でこの夏、過ごしてみませんか。

お知らせ

IT スキルアップミニ講座 1

チラシや SNS をデザインして
活動をより魅力的に伝える



「Canva の使い方」



- ◇日時：① 8月29日(木) 14:00~16:30
② 9月5日(木) 14:00~16:30

- ◇場所：ちがさきサポセン (フリースペース大)
- ◇講師：村田久美子さん (NPO 法人パソコンボランティア湘南)
- ◇参加費：500 円 (資料代/各回)
- ◇定員：10 名 (8/22(木)までに要申込・先着順/1 団体 2 名まで)
- ◇対象：PC/スマホで広報活動を検討している市民活動団体の他、地縁団体や福祉施設等スタッフ・広報担当の方など
- ◇参加条件：団体 HP や団体または個人の SNS アカウントを有している。ノート PC (Windows/Mac) またはスマホ (iPhone/Android)、タブレット等持参、2 回連続で講座に参加可能な方。



詳細・申込みはコチラ

炎天下かけこみスポット(クーリングシェルター)

として、8月1日より開放します！

熱中症になる前にひとやすみしてもらうことを目的に開放。外出先から自宅へ帰っている途中、お散歩の途中などに「このまま歩いていたら危険だ！」と思った際、気軽に立ち寄り休憩してください。体調が悪くなる前に利用し、元気に夏を過ごしましょう！

※7/1 時点、市内 27 か所のスポットが開放中
このマークが目印➡



最新情報は市 HP 参照

Web 版/市民活動団体ガイドブック 2024 年度

8 月にサポセン HP にて登録情報を一斉更新！300 以上の団体情報を掲載しています。「社会や地域貢献につながる活動をしたい」「課題解決のために他団体と協力したい」など市民と団体をつなぐガイドブックとしてご活用ください。

☆新規登録も随時受付中☆ 詳細はコチラ▶



広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月 1 日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

- ▷8/1 号：松浪フラワーコミュニティ
- ▷9/1 号：湘南シティ合唱団

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

8月							9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31		

- ・8/20 PM シェア de ボランティア
- ・8/29 PM IT スキルアップミニ講座

・9/5 PM IT スキルアップミニ講座

- ・10/19 AM こだたん+2025 キックオフ交流会
- ・10/27 PM SDGs カフェ

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、フリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

- 開館時間 9:30~21:30 (休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28~1/3))
- アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり
- 連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546
E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/
- 編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき
(指定管理期間：2021 年 4 月 1 日~2026 年 3 月 31 日)

サポセンキャラクター
“さぼちゃん”



サポセン HP